

トビウオ通信 (H19 第 2 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 19 年度第 1 回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議してとりまとめた第 1 回日本海海況予報（4 月 4 日付け）が発表されましたので、その概要を報告します。

2006 年 11 月～2007 年 2 月までの経過

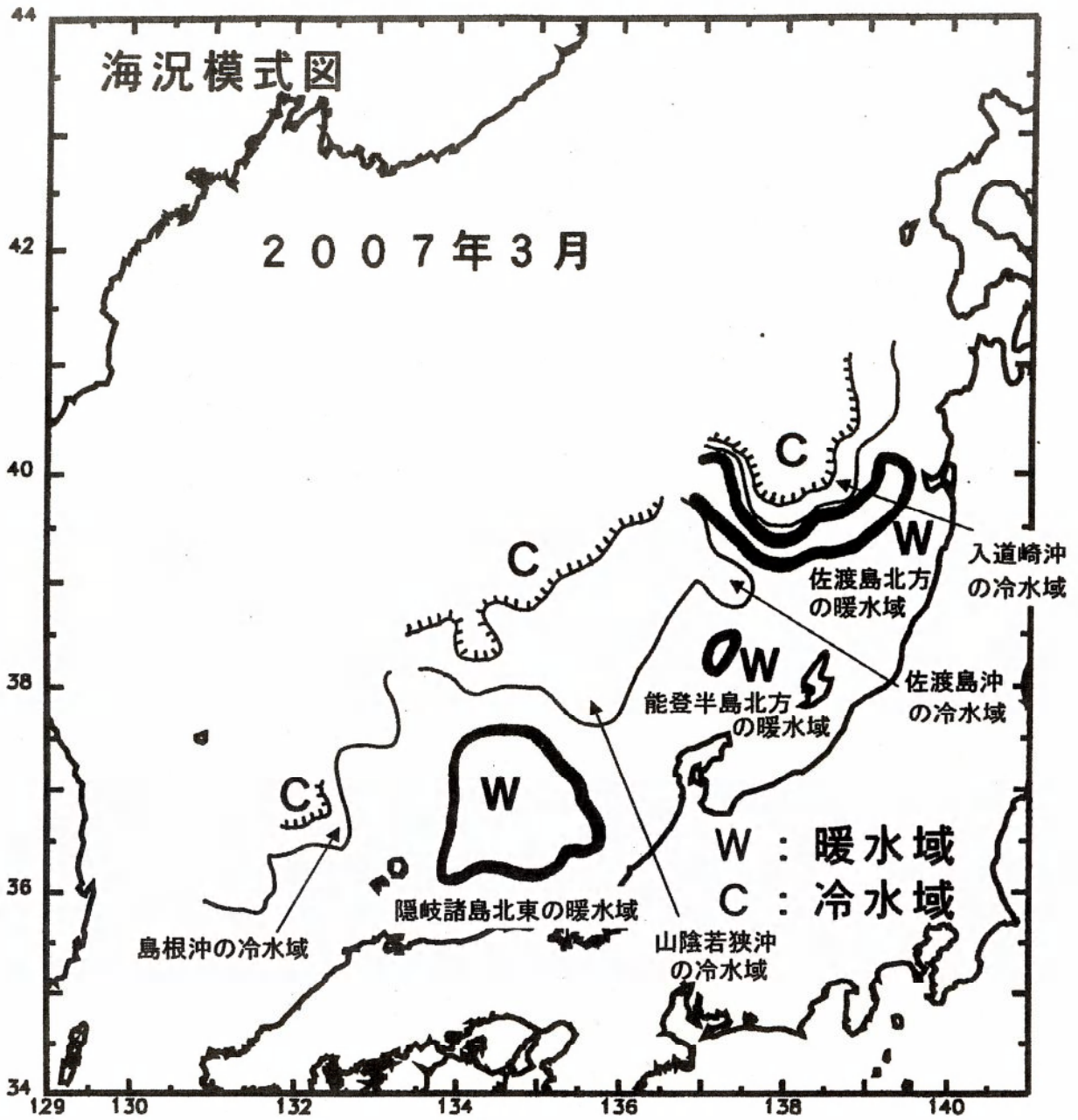
- 11 月に隠岐諸島北東側でみられた暖水域は、やや東に移動した後、停滞しました。
- 島根沖および山陰・若狭沖の冷水域は、規模が大きく、接岸傾向にありました。
- 対馬暖流域の表面水温は日本海のほぼ全域で 11 月、12 月および 2 月とも「平年並み～やや高め」となりました。

今後の海況見通し（2007 年 4～6 月）

- (1) 隠岐諸島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。
- (2) 島根沖および山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱い
- (3) 対馬暖流の表面水温は、やや高めで経過する
- (4) 対馬暖流の 50m 深水温は、日本海西部および北部ともやや高めで経過する

現況(2007 年 3 月) 別添模式図参照

- 暖水域は隠岐諸島北東に分布しています。
- 山陰・若狭沖冷水域は規模は小さく、接岸状況は平年並みとなっています。
- 対馬暖流域の表面水温はほぼ全域で「やや高め～かなり高め」となり、隠岐諸島北東では「はなはだ高め」となっています。
- 対馬暖流域の 50m 深水温は日本海西部では「かなり高め」となっています。



2007年3月の海況模式図